安楽寺だより 第15号

〒105-0014　東京都港区芝1丁目12-18　電話：03-3451-1509　FAX：03-3798-2238
発行者：藤澤 克己（安楽寺住職）　ホームページ：http://www.anraku-ji.org/

（安楽寺だよりは1月・4月・7月・11月の各15日に発行します）

夏本番 工夫して乗り切りましょう

例年より約２週間も早い梅雨明け宣言が出され本格的な夏がやってきました。連日の暑さに身体が慣れてないため、つい冷房に頼ってしまうという方も多いのではないでしょうか。

◇◇

梅雨の時期に関東では十分な雨が降らず夏の水不足が懸念されています。できるだけ「節水」を心掛けたいものです。

ところで、節水はよくよく考えてみると不思議なことだと思います。私の節約する一滴は大したことがなくとも、多くの人が一滴ずつでも節約すると相当な量の水を確保できるのですよね。

これは「節電」についても言えることで、**集団を構成する一員として思いやりの心があるから実践できること**なのだと思います。「自分さえ良ければそれでいい」といった心持ちではできないことですから。

さて、暑い夏を乗り切るためには、水も電気も必要です。節水し節電するにしても、やみくもに使わないようにしていては健康に悪影響を及ぼしかねません。

熱中症予防のためにも飲む水はたっぷりと確保し、風呂や水洗いでは節約するよう心がけましょう。暑さ対策には冷房も必要ですが、使うエリアを広げないようにしたり、暑い時間帯に活動しないで済むようにしたりといった工夫もしてみましょう。

暑さに負けぬよう留意しながら、お互いに工夫して暑い夏を乗り切りましょう。

≪あれこれ抄≫

▼夏の「安楽寺だより」をお届けいたします▼東日本大震災と原発事故から三度目の夏です▽スケールの大きな自然の営みを前に常に謙虚であり続けたいと思います▽エネルギーの大量消費は控えるべきであることも忘れてはなりません。▼今年もメダカとスズムシが小さないのちを繋いでくれました▽小さいながらも精一杯に生きる姿は見ていて微笑ましく思えます▽ご希望の方にお分けしていますのでお申し出ください。▼先日、自動車を運転していてうっかり追突事故を起こしてしまいました▽大事には至りませんでしたが、改めて気を引き締めなければと思っているところです。▼暑い夏をどう過ごしたらいいのか、いい知恵があればどうぞ教えてください。

永代経法要をお勤めしました

今年も５月１０日に永代経法要をお勤めし、多くの方にお参りいただきました。

例年通り芝組の法中仲間に内陣出仕をしてもらい、『仏説阿弥陀経』のお勤めをしました。住職はご本尊正面の礼盤（台座）に着座する作法で導師を務めました。

お勤めに続き、ご法話を聴聞しました。

今年新しくお迎えしたご講師は山本昭淳師（本願寺派布教使・麻布組長玄寺）。柔和な表情と優しい語り口で永代経法要の意義を分かりやすくお話くださいました。

◇◇

「大切なお**経**を**永代**にわたり伝えていくことを慶ぶ**法要**」と示され、さらにお経の本質的な内容を簡潔にお話くださいました。

〝南無阿弥陀仏のいわれ〟や、お念仏が阿弥陀様からの「まかせよ」という呼び声であるということを丁寧にお取り次ぎいただき、あらためて浄土真宗のみ教えの大切なところを学ばせていただきました。

◇◇

これからも折を見て、ともに学べる機会を持てればと考えています。

【お経のお言葉】

※みなさんに知っていただきたいお言葉を紹介します。

そくとくおうじょう

即得往生

（即（そく）の時に　往生を得る）

『仏説無量寿経』にあるお言葉です。信心を得ていれば（＝お念仏を称える身となれば）、この世でいのちの縁が尽きたらすぐに浄土往生することができると説かれています。

さらに親鸞聖人は「即得往生といふは、即はすなはちといふ、ときをへず、日をもへだてぬなり。また即はつくといふ、その位に定まりつくということばなり」（『一念多念文意』）と示され、お念仏を称える身となったときに**正定聚**（しょうじょうじゅ：「仏となることが正しく定まっているともがら」）という位につくと明らかにされました。

〝お盆〟の意味

亡くなられた先人たちのご恩に対し、あらためて思いを寄せるのがお盆である。
親鸞聖人は仰せになる。

願土にいたればすみやかに　無上涅槃を証してぞ
すなはち大悲をおこすなり　これを回向となづけたり　（『高僧和讃』）

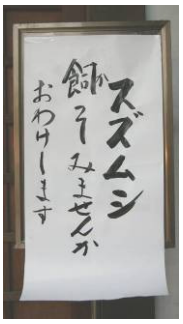
浄土へ往生した人は、如来の願力によってすみやかにさとりをひらき、大いなる慈悲の心をおこす。迷いのこの世に還り来たり、私たちを真実の道へ導こうと常にはたらかれるのである。

仏の国に往き生まれていった懐かしい人たち。仏のはたらきとなって、いつも私とともにあり、私をみまもっていてくださる。このお盆を縁として、すでに仏となられた方々のご恩をよろこび念仏申すばかりである。　（『拝読 浄土真宗のみ教え』より抜粋）

〝お盆〟の意味をあらためて考え、手を合わす時間を持っていただければと願っています

≪季節のスナップ≫

↑
昨年のスズムシが産んだ卵が
６月初旬に孵化しました。
孵化してから２週間たっても
マッチ棒の先端より小さい！
飼ってみませんか？



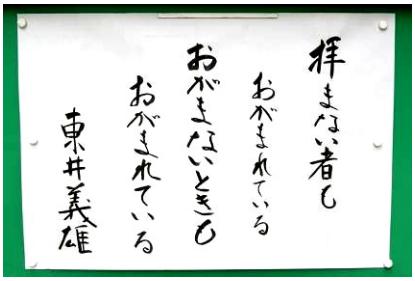
お盆の時期の→
本堂のお飾り
（～８月中旬）

↓メダカの水鉢は涼しげです

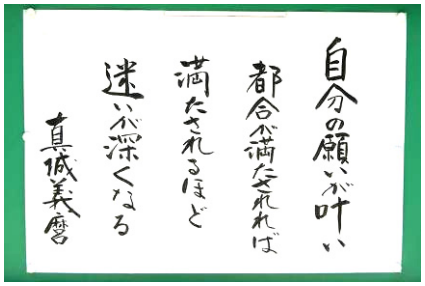
↑　↓　タネからハスを育てています　↓

月々の言葉　～安楽寺 伝道掲示板から～

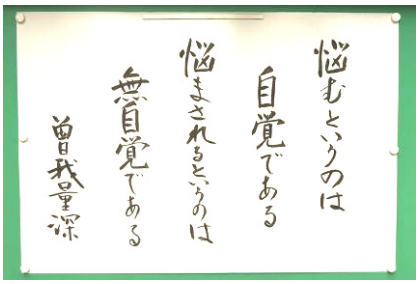
お寺の入り口に、その時々の伝道の言葉を掲げています。（１か月毎）



2013 年 5 月



2013 年 6 月



2013 年 7 月

来年６月に本願寺の法統継承

「本願寺新報」に→
報じられました

本願寺新報
hongwanji journal
4月20日(土曜日)
ご門主、来年6月にご退任
新門さまが法統を継承、第25代門主に
法統継承式・伝灯奉告法要へ

西本願寺（浄土真宗本願寺派の本山）の**大谷光真**ご門主は来年６月に退任されて、長男である**大谷光淳**新門さまが法統を継承すると報じられました。

同時期に『**浄土真宗のこれから**』という冊子が発行され、お二人の〝想い〟が対談として語られています。広い視野からのお話は示唆に富んだ内容です。みなさまにも是非読んでいただきたいと思います。

（冊子はご希望の方に差し上げています）

築地本願寺 親鸞聖人 750 回 大遠忌法要 に参詣しました

さる 4 月 27 日～30 日に親鸞聖人 750 回大遠忌法要が行われ、ご門徒の方と一緒に参詣してまいりました。

広い本堂が毎回満堂になり、厳かな雅楽の調べと宗祖讃仰作法によるお勤めで感動的な時間を過ごすことができました。

新しくなった築地本願寺に、ぜひお参りいただければと思います。

27 日の参詣は→
住職がご一緒に
お参りしました

←30 日の参詣は
前住職がご一緒
しました

「定例法話会」の今後の予定（毎月第３日曜日 午後３時～）

伝道掲示板の言葉をもとにお話させていただきます。いつでもご参加ください。

７月 21 日(日)　８月１８日(日)　９月１５日(日)